



RI 会長方針

会長 篠原 啓一  
 例会場 常陽銀行太田支店2F  
 例会日 毎週水曜日/12:10~13:10  
 最終例会18:30 レストランばんび  
 会報委員 岩間 貴宏・鹿志村勇夫・大作 幸恵・富岡 公

(先週例会) 2019年9月25日 NO. 10

(本日例会) 2019年10月2日例会 (通算NO. 2892)

## 本日のプログラム(10月2日)

- ◎ 月例セレモニー
- ◎ 会長タイム
- ◎ 幹事・副幹事報告
- ◎ 委員会報告
- ◎ ロータリーの友から

## ◎ 四つのテスト唱和

## ◎ 会長タイム(篠原会長)

こんばんは。今日は欠席の方が多く、寂しい例会になるかもしれませんがよろしくお祈いします。

先週火曜日、ライオンズクラブのチャリティゴルフがありました。ロータリー枠では1組、7時10分のトップスタートで回りました。後藤エレクトが見事5位に入賞、岩間会員が27位、私と草野会員は訊かないでいただきたい、という結果でした。

同じ日の夜、小坪ロータリー情報委員長のもと富永敏博会員に炉辺会議を行っていただきました。8名の参加で、ロータリーとライオンズクラブの違い等お話いただき、また入会間もない会員の方からはいろいろな質問もあり、大変有意義な炉辺会議ができたと思います。昨年橘会長のもと1回しかできなかつたので、その分を取り返したいと思い、小坪委員長には2回目をお願いをしてあ

りますので、次回また入会5年未満の方には参加していただきたいと思います。

先週慈久庵の小川さんから連絡をいただきました。9/4に東京お茶の水ロータリークラブで卓話をされてきたそうです。その際常陸太田クラブのことも小川さんの方からPRしていただきました。お茶の水クラブのホームページに卓話の内容が出ておりましたので、回覧させていただきます。

今週末から国体が始まります。ボランティアで参加される方は大変かと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今日は草野幹事が福島に行ってきたご報告を兼ねて卓話をいただきます。貴重なお話が聞けると思いますので、お楽しみに。

## ◎ 幹事報告(草野幹事)

国体のボランティアの方、どうぞよろしくお願いいたします。

## ◎ 委員会報告

## 国際奉仕委員会(和田委員長)

「国際ロータリー第2820地区国際交流奨学金」  
奨学生募集について

配付した募集要項をご覧ください。応募受付は10/31まで。もし希望があれば、私の方で書類等

準備物について直接説明し、お渡しします。来年度、再来年度にも対象となる方がいるかと思いますが、募集要項を皆さんの方で理解していただき、活用していただきたいと思います。

## ◎ 卓話（草野会員）

### 『福島の現状』

9月は防災の月。福島県立医科大学災害医療総合学習センターでの被ばく医療研修会に行ってきましたので、福島の現在についてお話をさせていただきます。何を今さら福島？と思われる方もいらっしゃると思いますが、ちょうど小泉進次郎さんが環境大臣に任命されたり、東電の責任者が無罪になったりと注目を浴びましたのでタイムリーになってよかったです。

- ・放射線と放射能について
- ・福島県 震災から8年半
- ・原発で起きた事

津波による電源喪失⇒注水機能(冷却機能)喪失⇒水素爆発(建屋破壊)⇒放射性物質の環境への漏洩・拡散

- ・原発事故後10万人以上が一斉に避難
- ・震災による直接の原因ではなく、震災による関連死者数は福島が圧倒的に多い。

岩手、宮城の被害は一気にどん底に落ちたので、そこから這い上がるしかなかった。しかし、福島の被害は、避難した時点では何が起きたのか全く把握できなかった。現状のままであった。喪失感が薄い。日が経つにつれてどんどん状況は悪くなっていく。将来が見えない。避難しても、しなくても、様々な葛藤、ストレスがさらに襲い掛かる。

- ・原発災害のスティグマ
- スティグマとは、他者や集団によって個人に押し付けられたマイナスの烙印。

避難者に対して人々が抱いているイメージがあります。放射能への無知、恐れそのものを、福島の人たちに向けている。賠償金問題。避難者と周囲の人との軋轢。家庭内での価値観の違い。

- ・横浜で起きたいじめの実態。
- ・「福島の現状ツアー」
- ・檜葉町について

震災前の人口は約7700人。震災直後、翌年は800人。現在は6869人。このうち町内に住んでい

る人は約3800人。残りは住民登録をしているけれど住んでいない。実際に住んでいる3800人のうち元からの住人は2500人。残りの1300人は、様々な作業員や労働者。

- ・檜葉町の市民健康診断に参加

心の健康アンケートのチェック、10名ほどからお話を伺う。様々な状況、家族、環境の方がいた。アンケートから見えた結果は、未だに放射能に不安や恐怖を抱えている人が多い。頭では分かっているけど心は納得できない。

- ・福島問題の特徴

自らの問題として取り組みにくい＝人災の側面＝怒りの対象がある

避難者であると言いにくく、悩みを共有できない。残っても地獄、逃げて地獄。

- ・生活そのものに多くの課題。

インフラの破綻。町内会や自治会、社会的ネットワークが失われる。野生動物の害。

- ・住民の方々の言葉

我々が未だに苦しんでいることを理解してもらいたい。いつも支援してくれる、関心を持ってくれる、寄り添ってくれる人がいる事は嬉しい。

## ◎ ニコニコボックス（平根委員）

### 共通テーマ

「茨城国体を盛り上げよう！」12名

### 自由テーマ

「炉辺会議楽しくできました。

ありがとうございました。」小坪

「草野幹事、卓話よろしくお願ひします。」篠原

「大谷会員優勝おめでとうございます。」後藤

今週計 15,000円

累計 356,000円

## ◎ 出席委員会報告（塩原拓海委員長）

全会員数	出席者数	免除者欠席数	出席率
36名	17名(mu-)	1名	48.6%

前週訂正出席率 --.-%(メイクアップ 1名)